

## 平成 30 年度学長戦略経費（重点分野研究プロジェクト）実績報告書

（平成 31 年 3 月）

報告者氏名・所属	宮前耕史・釧路校
研究プロジェクトの名称	「食育」実践力向上のための「酪農家民泊体験実習」プログラムの開発
プロジェクト担当者 （氏名・所属・職） ※代表者に●を付すこと	堀田 誠・釧路校・教授（教育実習委員会委員長） ●宮前 耕史・釧路校・准教授 半澤 礼之・釧路校・准教授 野村 卓・釧路校・准教授
研究プロジェクトの概要等（研究期間全体）	
<p>第一次産業とりわけ酪農を基幹産業とする北海道東部の地域特性を生かし、食糧生産基地・北海道に所在する唯一の教員養成大学として、酪農家宅での作業体験・生活体験を軸とする「食育」実践力向上のための「酪農家民泊体験実習」プログラムを開発する。本プロジェクトは、釧路校教育実習委員会と、道東を中心とする道内の酪農家、自治体や教育委員会・農協・NPO法人・企業等、関係機関・団体との連携・協働により、プログラム開発を行う。</p>	
研究実績の概要（当該年度）	
<p>道東を中心とする道内の酪農家、自治体や教育委員会・農協・NPO法人や企業等、関係機関・団体と連携し、「酪農家民泊体験実習」を軸とする「食育」実践力向上のためのプログラム開発を行った。3年目となる本年度には、1年目・2年目となる平成28年度および29年度に作成・実施したプログラムにさらに改善を加えたプログラムを実施すると同時に、効果検証および研究成果発表を行った。効果検証にあたっては、プログラム参加学生の事前・事後の意識変容を明らかにするため、アンケートによる定量的調査を行うと同時に、コンセプトマップおよびインタビューによる定性的調査を実施した。</p> <p>具体的な実施日程は下記の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受講案内および参加受付、ガイダンス <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月13日（金）受講案内（教育フィールド研究および教育実習ガイダンス）</li> <li>・ 4月16日（月）参加受付会①</li> <li>・ 4月20日（金）参加受付会②</li> <li>・ 4月23日（月）抽選会</li> <li>・ 5月14日（月）事前ガイダンス①</li> <li>・ 5月16日（水）事前ガイダンス②</li> </ul> </li> <li>2. 研究打ち合わせ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月6日（金）研究打ち合わせ（JA北海道中央会根釧支所）</li> <li>・ 4月20日（金）研究打ち合わせ（根室農業会館）</li> <li>・ 5月14日（月）研究打合せ（北海道教育大学釧路校）</li> <li>・ 2月27日（水）研究打合せ（北海道教育大学釧路校）</li> </ul> </li> <li>3. 「酪農家民泊体験実習」プログラムの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月25日（金）～27日（日）酪農家民泊体験実習</li> </ul> </li> <li>4. 研究成果発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年9月30日（日）日本教師教育学会第28回研究大会（東京学芸大学）</li> </ul> </li> </ol>	

今後の研究プロジェクトの推進計画	
<p>引き続き、道東を中心とする道内の酪農家、自治体や教育委員会・農協・NPO法人や企業等、関係機関・団体と連携し、「酪農家民泊体験実習」を軸とする「食育」実践力向上のためのプログラム開発を行う。本研究では、プログラム開発と同時に、開発されたプログラムの効果測定手法の開発も行ってきた。双方ともに、関連学会等における研究成果発表を通じて高い評価を得てきたことも事実であるが、一方、体験や体験を通じて得られた知見を教師としてどのように授業実践その他、教壇に活かしていくことができるのか、プログラムの「実践性」の検証に課題が残された。そこで本研究では、今後、本研究の研究成果および本研究の研究過程において構築された実施体制を基盤に、学校現場の支援・協力も得て、上記のような各種機関・団体との連携・協働による「食育実践コミュニティ」の構築も目指しつつ、「酪農家民泊体験実習」を軸とする「食育」実践力向上のためのプログラム開発を行う。</p>	
教育現場や地域での活用等	
<p>「食育」「食農教育」「地域理解」等の関連分野で、「食育」実践力の習得や向上、「地域理解」や「地域学習」等のために、教師を目指す学生および現職教員が研修等を行う際に利用可能である。</p>	
研究成果の公表実績（当該年度）	
<p>【著書】 特になし</p>	
<p>【学術論文】（投稿中も含む）  特になし</p>	
<p>【学会発表、シンポジウム、セミナー、演奏会、展覧会、競技会、普及啓発イベント等】</p> <p>・半澤礼之・宮前耕史「酪農民泊体験実習が大学生の教師としての将来展望形成に与える影響」平成30年9月30日（日）日本教師教育学会第28回研究大会（東京学芸大学）</p>	
<p>【テキスト、報告書、研修資料等】</p> <p>・『教育フィールド研究Ⅶ（酪農家民泊体験実習）』（2018）パンフレット（作成中）（作成した冊子は本学HP（特色ある取り組み「酪農家民泊体験実習」）に掲載する。</p>	
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本教師教育学会第28回研究大会（東京学芸大学）（平成30年9月30日（日）発表資料）</li> <li>・『北海道新聞』2018年5月26日（土）記事</li> <li>・『日本農業新聞』2018年5月30日（水）記事</li> <li>・『釧路新聞』2018年6月6日（水）記事</li> </ul>
ダウンロード可能なドキュメント	『教育フィールド研究Ⅶ（酪農家民泊体験実習）』（2018）パンフレット（作成中）を本学HP（特色ある取り組み「酪農家民泊体験実習」）に掲載予定。
関連URL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道教育大学HP「特色ある取り組み」酪農家民泊体験実習 (<a href="http://www.hokkyodai.ac.jp/distinctive/research/project/rakunou.html">http://www.hokkyodai.ac.jp/distinctive/research/project/rakunou.html</a>)</li> <li>・北海道教育大学釧路校HP「釧路校の学生が『酪農家民泊体験実習』を行いました」(<a href="http://www.hokkyodai.ac.jp/info_topics/kus/detail/6810.html">http://www.hokkyodai.ac.jp/info_topics/kus/detail/6810.html</a>)</li> <li>・北海道教育大学公式FB (<a href="https://www.facebook.com/hokkyodai/?hc_ref=ARSFfPIHJKb2QJicHB3uejNKdTrW7rFpxk-PzPSX94p2gy24pLQswqwkxCULAcD3Bo">https://www.facebook.com/hokkyodai/?hc_ref=ARSFfPIHJKb2QJicHB3uejNKdTrW7rFpxk-PzPSX94p2gy24pLQswqwkxCULAcD3Bo</a>)</li> </ul>
問い合わせ先	<p>氏名：宮前耕史 電話：0154-44-3309 E-mail：miyamae.yasufumi@k.hokkyodai.ac.jp</p>